

テーマ株

プレミア証券株式会社 榊原 潔

■ EV関連銘柄 PART 2

前回のウィークリーレポート（8/16）に引き続き「EV関連銘柄」の第2弾をお届けします。

環境問題やEV開発主導権争いがEVへの流れを一層強くしているようです。

現在、世界では乗用車や商用車など約10億台もの車が走っていると推定されています。ガソリンエンジンを搭載した一般的な乗用車の場合、油井での採掘からガソリンの精製、輸送、給油、走行など一連の過程でガソリン1ℓ当たり2.7kgの二酸化炭素を排出しているといわれています。世界的には内燃機関が排出する二酸化炭素の量は年間50億トン超となり、温暖化の元凶といわれています。「EV用の電力を作るのに発電所で化石燃料を燃やしていれば、ガソリン車と変わらない」という意見もありますが、カリフォルニア州大気資源局などでは「EVのために化石燃料を燃やすほうが環境への負荷は小さい」と指摘しています。

中国では、今まで海外メーカーに許されていなかった3社目の合併会社設立をNEV（新エネルギー車）に限って認めました。国家戦略としてNEV産業育成の姿勢を示し、2020年にはNEV販売を200万台、保有台数を500万台にする目標を掲げています。英コンサル大手のPwCは世界のEV市場は2016年の年産66万台から、2023年には357万台と5倍強になると予想しています。

そこで今回はEV関連銘柄PART2としてリチウムイオン電池やモーター、EV製造ライン関連の銘柄を取り上げました。

ご質問等ございましたら、ご遠慮なく下記までお問い合わせ下さい。

| コード | 社名 | 市場 | 株価 | 業務内容・概況 |
|------|--------|------|----------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 3407 | 旭化成 | 東証1部 | 1,272.5円 | 総合化学企業。米国ポリピア社を買収しセパレーターで世界首位。世界的にEV向け需要が増えると見て2019年を目途にセパレーターの生産能力を約3割引き上げる。米ステラなどから大口の受注を獲得できたためと見られている。セパレーターは複数の技術が必要で付加価値や参入障壁が高い。 |
| 5713 | 住友金属鉱山 | 東証1部 | 1,873.0円 | 非鉄金属と電子材料が二本柱。鉱山事業や精錬事業に比べ安定した収益が見込める電池材料事業の拡大を目指し設備投資に注力。鉱石から原料を調達できる強みを生かす。EVの駆動源のリチウムイオン電池の正極材を増産。同社は車載電池向けの正極材をパナソニックを通じ米ステラにほぼ独占供給している。 |
| 6258 | 平田機工 | 東証1部 | 10,630円 | 生産設備エンジニアリング会社。自動車や半導体など顧客多彩。売上の4割を自動車関連が占める。EVのバッテリー製造装置は従来数台を組み合わせるが、当社製品は1台で済む効率の高さが評価を受けている。電気自動車向けを柱にする予定。有機EL製造装置も手掛ける。 ※6/19日証金が貸株利用など貸借取引で注意喚起銘柄に指定しています。 |
| 6594 | 日本電産 | 東証1部 | 12,055円 | 世界首位の精密小型モーターから車載・産業用など中大型にシフト。車載モーターを重点分野と位置づけ、2030年の売上は16年比15倍の4兆円に拡大するとの見方を示す。永守会長兼社長はEV向けモーターの需要について「千客万来だ」と話している。生産ロボットなど自社生産し、採算向上。 |
| 7004 | 日立造船 | 東証1部 | 540円 | 固体化した小型リチウムイオン電池の販売を2020年目途に開始予定。当初は特殊用途向け、将来的にはEV向けを目指す。固体化したものは従来型と比較して耐久性・安全性に優れ、寒暖での性能低下や充放電に伴う劣化も克服。他社固体化製品と比較して性能は断トツだがコストダウンが課題。ホンダで性能評価も受けている。 |

ご質問等ございましたら、ご遠慮なく下記までお問い合わせ下さい。

【注】株価は9月6日の終値です。

榊原 03-5658-3801（代表） 090-2649-0396(携帯) k.sakakibara@premiere-sec.co.jp

■ ご注意

本レポートは、作成日における情報に基づくものであり、予告なしに変更される場合があります。本レポートは当社が信頼できると判断した情報源から取得した情報に基づき作成しておりますが、その正確性・信頼性・完全性・妥当性を保証するものではありません。記載した情報、予想および判断は有価証券の購入、売却、デリバティブ取引、その他の取引を推奨し、勧誘するものではありません。本レポートに掲載される内容は、コメント執筆時における筆者の見解・予測であり、当社の意見や予測をあらわすものではありません。当社は本レポートの内容に依拠してお客様が取った行動の結果に対し責任を負うものではありません。本レポートの内容につきましては、お客様のご判断に基づきご利用いただき、投資にかかる最終決定は、お客様ご自身の判断と責任で行っていただくようお願いいたします。



■ リスク等について

当社がご提供する金融商品取引および商品先物取引は、価格変動リスクや信用リスク、為替変動リスク、金利変動リスク等があり、元本や収益を保証するものではありません。株価指数先物取引や商品先物取引、外国為替証拠金取引等のデリバティブ取引は、少ない資金で取引を行うことができ、多額の利益が生じることがある反面、預託した証拠金以上の損失が生じ、追加の証拠金が必要になる場合もございます。また、外国為替証拠金取引においては、証拠金が一定水準以下となった場合は、保有ポジションが自動的に強制決済されるロスカット制度が適用されます。

■ 手数料・証拠金等について

手数料は取扱商品、かつ、取引コース（オンライン・対面取引）によって異なります。株式取引は最高で約定代金の1.1880%となり、加えて信用取引であれば金利・貸株料・品貸料等がかかります。日経平均先物は最高で27,000円（片道・税込）、外国為替証拠金取引は2,000円（同）がかかります。商品先物取引は銘柄によって異なり、最高で10,000円（同）がかかります。証拠金については取扱商品によって、週次・半月毎に変動するほか、取引所の判断で臨時に見直されることもあります。最新の証拠金については、弊社のホームページをご参照ください。

お取引の前に契約締結前交付書面及び取引約款等の内容を熟読していただき、リスクや仕組み等を充分ご理解のうえ、ご自身の責任とご判断でお取引ください。

【会社概要】

| | |
|---------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 商 号 | プレミア証券株式会社 |
| 所 在 地 | 〒103-0014 東京都中央区日本橋蛸殻町 1-39-5 水天宮北辰ビル 9 階 |
| 連 絡 先 | TEL : 03-5652-3801 FAX : 03-5652-3808 |
| 登 録 番 号 | 【金融商品取引業者】 関東財務局長(金商)第 162 号 |
| 許 可 取 得 | 【商品先物取引業者】 農林水産省指令 26 食産第 1371 号 経済産業省平成 26・06・06 省第 12 号 |
| 加 入 協 会 | 日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、日本商品先物取引協会 |
| 顧客相談窓口 | プレミア証券株式会社 コンプライアンス部 TEL : 03-5652-3801 (受付 平日 9:00~18:00) <金融商品取引に係るもの> 証券・金融商品あっせん相談センター 東京都中央区日本橋茅場町 2-1-1 TEL : 0120-64-5005 <商品先物取引に係るもの> 日本商品先物取引協会 相談センター 東京都中央区日本橋堀留町 1 丁目 10 番 7 号 東京商品取引所ビル 6 階 TEL : 03-3664-6243 URL: https://www.nisshokyo.or.jp/index.html |

※当社の企業情報は、本店及びホームページで開示しております。